

## イベントレポート

咲くやこの花賞受賞記念

坂東祐大の世界を紐解くレクチャーコンサート

2024年12月22日〔日〕13:30～15:10

会場＝大阪歴史博物館4階講堂

出演／

坂東祐大

(令和5年度咲くやこの花賞音楽部門〔現代音楽〕受賞)

長谷川将山 (尺八奏者)



### 【プログラム】

#### 【第一部】

作曲家・坂東祐大が尺八独奏のために書き下ろした新作「秘曲《象息之調》」

作曲の背景やアプローチについて、また尺八奏者・長谷川将山を交えた二人のコラボレーションの裏話などを紹介。

#### 《休憩》

#### 【第二部】

新作「秘曲《象息之調（ぞうそくのしらべ）》（2024）尺八独奏のための」

演奏：長谷川将山（尺八奏者）

#### 【開催概要】

作曲家・坂東祐大さんの咲くやこの花賞受賞を記念し、「坂東祐大の世界を紐とく」と題したレクチャーコンサートを、尺八奏者・長谷川将山さんをお招きして開催しました。



会場前の様子



会場内の様子



第一部の様子



第一部の様子

第一部のレクチャーでは、坂東さんが、日本の作曲教育が西洋音楽に偏りがちである現状に触れながら、邦楽器が現代音楽にどのように取り入れられているのかについて、わかりやすくお話いただきました。とくに尺八の記譜法に関しては、西洋の五線譜と日本の伝統的な和譜との違いを取り上げ、尺八奏者・長谷川将山さんとともに、演奏や対話を交えながら丁寧に解説いただきました。



長谷川将山さんによる秘曲「象息の調（ぞうそくのしらべ）」演奏



長谷川将山さんによる秘曲「象息の調（ぞうそくのしらべ）」演奏



演奏後の様子



坂東祐大さんと長谷川将山さん

第二部では、坂東さん作曲による秘曲「象息の調（ぞうそくのしらべ）」を、長谷川さんが演奏。ユーモアと実験的な要素が融合した本作では、象の鳴き声を模したような特殊奏法が用いられ、さらに演奏者の動きにはダンサーの指導を受けた身体表現も取り入れられており、音だけでなく視覚的にも楽しめるパフォーマンスが展開されました。とくに、演奏者が徐々に“象になっていく”ようなユーモラスな演出には、会場から笑いや驚きの声が上がりました。

邦楽器や現代音楽にあまり馴染みのない方でも楽しめる工夫が随所に施されており、伝統と革新が会う、まさに新しい音楽のかたちを感じさせるレクチャーコンサートとなりました。